

ひろしまええとこ通信

題字：東区「うぐいす共同作業所」山中剛範さん

暑さ厳しい夏ですが、広島市各区では、様々な取り組みが実施されています。
今回は、広島市各区の“ええとこ”を担当生活支援コーディネーターから報告します！！

地域のええとこ紹介コーナー「Wa!それええね!!」

佐伯区 発見! 笑顔あふれる素敵サロン

現在、佐伯区内では、303箇所(佐伯区社協把握分)のサロンがあります。サロンの素敵な魅力がより伝わればと思い、今回は2団体をご紹介します。

ふれあいサロン陽だまり(五月が丘地区)

開催場所:森下会館〔佐伯区五月が丘5丁目3-5〕

ふれあいサロン「陽だまり」は、空き家を活用し、地域の方が誰でも気軽に利用できる地域の憩いの場として、平成28年2月に開設されました。月・水・金曜日の10時～15時に活動されています。

このサロンは、閉じこもり防止・認知症予防・ストレス発散等を目的としています。代表者の迫さんと五月が丘地区社協の津丸会長は、「ここに来て、会話をしてもらいたい。楽しんでもらいたい。」と話されています。素敵な想いが詰まったサロンです。

また、サロン参加者さんやボランティアさんが持ち寄った生け花やインテリア・花壇等が室内外の至る所に飾ってあり、より素敵な空間となっています。さらには、地域の方だけでなく、学生ボランティアさんもこの場に集い、多世代交流の場ともなっています。

皆さん口々に「ここは楽しい!」とおっしゃる、何度も通いたくなるサロンです。



花サカス(五日市南学区)

開催場所:佐伯区総合福祉センター〔佐伯区海老園1丁目4-5〕

花サカスは、「回想法」を用いたサロン活動で、令和4年1月1日に設立されました。第1・3水曜日の13時30分～15時に活動されています。

「回想法」とは、昔の写真や家庭用品等を通して過去の経験や思い出を語り合う、認知症の非薬物療法の一つです。昔のことを思い出すことで、脳が活性化され、認知症や介護予防に有効とされています。代表者の木村さんは、長らくケアマネジャーとして仕事をされる中で「回想法」と出会ったことが活動のきっかけと話されます。

花サカスでは、毎回、「あそび」や「通学路」等のテーマを設定し会話を楽しんでおられるそうです。今回は、「ものさし」がテーマで、着物の寸法のことや学校の授業での出来事、病院のこと等どんどん話が広がり、盛り上がりしました。

花サカスの皆さんは、「回想法」をきっかけに、高齢者に少しでも生きがいや楽しさを感じてもらいたいと話されます。地域のサロンに出張して「回想法」を実施する活動も行っており、今後は高齢者施設にも出向く機会を増やす等さらに活動の幅を広げていきたいそうです!これを機会に是非、皆さんの地域のサロンでも、「回想法」体験してみませんか?



どちらも世話人さんの素敵な想いが伝わるサロンで、人と人が直接顔を合わせてコミュニケーションをとる大切さを改めて感じました。「来て良かった!」と思える素敵な場がもっと増えるよう、生活支援コーディネーターとして縁の下の力持ちになればと思います。
生活支援コーディネーター 前田



東区 高齢者と園児がふれあう“つながりづくり”

「りらっくす温品保育園」の園児が、温品公民館で開催している認知症支えあいカフェ「温品きんさいカフェ」に毎月訪れています。

以前はりらっくす温品保育園でカフェを開催していましたが、保育園の改修工事や新型コロナウイルスの蔓延により中止を余儀なくされていました。そこで、カフェの会場を公民館に移転し、令和5年5月に再オープンしました。会場を移転してもカフェと保育園のつながりを絶やさないように、カフェ開催時には毎回園児が訪問して、一緒に工作をしたり、歌を歌ったりして交流を深めています。

孫も成人し、近所に幼い子どもも住んでいないというカフェの参加者は、「声を聞くだけで元気になる。小さい子は可愛いね。」とされていました。地域みなさんは園児の訪問をとっても楽しみにしています。

また、園児も毎回「またおばあちゃんに会いたい!」、「今日は何をするん?」と訪問を楽しみにしています。

地域の方との交流を通じて成長して欲しい、また地域の子どもとして気にかけて欲しい保育園と、地域の子どもとの交流を通じて喜びや楽しみを感じて欲しいカフェが、お互いに支えあえるカフェを目指して交流しています。



カフェでの自然なふれあい



園児合唱の様子



工作を通しての交流



さよならタッチの様子

○店長としての思いを教えてください。

スタッフも含め、参加者全員が楽しめるように、周りに気を配りながら運営しています。子どもの元気だけでなく、参加者の方の笑顔を見るたび励みになっています。これからも、多世代交流を通じて、誰にでも優しい地域づくりにつながれば嬉しいです。



温品きんさいカフェ
長船店長

○保育園の思いを教えてください。

子どもたちには「生きる力」を育ててほしいと思い、地域に密着した保育園を目指しています。地域の方と一緒に育むことを大切にしたいです。



りらっくす温品保育園
花田園長



散歩の様子

○もうひとつのエピソード。

地域でボランティアをしている男性が毎日、保育園の花壇の手入れや、散歩の見守りをしてくださっています。

園児から話しかけるなど、交流も自然に生まれています。子どもたちにとっては地域のおじいちゃんであり、ボランティアさんにとっては、毎日の楽しみや励みになっています。

「お互いが支えあえるカフェにしたい。」この言葉は、カフェ再オープンに向けての打合せ時に参加者から出た言葉です。近年、地域での住民同士のつながりの希薄化が取り上げられていますが、地域に住み営む人同士が交流することでつながりづくりをしています。活動を通して誰にでも優しい地域づくりが広がるように応援していきます。

生活支援コーディネーター 佐々木



安佐南区 マンションから広がるコミュニティの場

ファミリー毘沙門台駅前管理組合 かよう会（1999 年設立 14 階建 64 戸）

マンションの居住者同士のコミュニケーションが深まればとの思いから、3年前からサロンを始められました（100歳体操、ボッチャ）。

サロンをきっかけに「マンション内ですれ違った時に明るく挨拶が出来るようになりました」との声を伺いました。



ここでは
話が弾んで
自然と笑顔に
なるんよ！😊

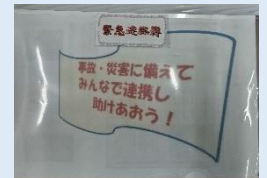
体操時には、子どもが足を止め、笑顔で真似をされることもあります。代表の森下さんは「世代を超えた交流の場が、少しずつでもこの場から生まれたらいいな」とこれからの夢を語られました。

茶話会の時の「マンションで一人の時に何かあったら不安よね…」という一言から参加者の同意のもと、

- ・緊急連絡網の整備
 - ・希望者の名簿や有事の際のペア登録
 - ・緊急連絡先等を冊子にまとめる
- などの取り組みを行いました。



家の電話横に
置いています！



スカイハイツ相田自治会（1990 年設立 14 階建 97 戸）

自治会設立当初より“知り逢い”、“深め合い”、“育て愛い”を目指したスカイハイツ祭りや子ども神輿などの子ども会を中心としたイベントを通じてマンション内のつながりを紡いでこられました。



しかし、年数の経過とともに住民も年齢を重ね、現在では、マンション周辺の清掃や年末大掃除、消防訓練を行うだけになったそうです。

イベントの減少に伴い、つながりの希薄化が懸念されていた中、安東学区社協からの「100歳体操に取り組んでみないか」との声掛けがあり、高齢者の体力向上と住民相互のふれあいの場として、令和 5 年 4 月から開催することとなりました。

開催をしてわずか3か月余りですが、
ここで皆に会えると笑顔になります♪
おもしろも少しずつ重たくして元気になりたい！



みなさんのお住まいの地域にもある
「ふれあい」や「つながり」について、
ぜひお話を聞かせてください♪
生活支援コーディネーター 角田・尾田

100歳体操の他にも、月1回の茶話会を開催されています。「子どもからお年寄りまで誰もが立ち寄ることの出来るサロンを開催することで、改めてマンション内の多世代交流のきっかけを作っていきたい」と代表の三浦さんは語られました。





助け合いの輪がどんどん広がっています！ 広島市住民主体型生活支援訪問サービス



「広島市住民主体型生活支援訪問サービス」とは、「介護予防・日常生活支援総合事業」(介護保険)で実施する訪問型サービスの一つです。実施団体が地域包括支援センターと連携を図りながら、地域に暮らす高齢者の「ちょっとした困りごと」を支援しています。

令和5年7月1日から、新たに4団体が実施団体として加わり、市内40団体が、本サービスに取組まれています。

～ 新規実施団体 ～

青崎地区社会福祉協議会 (南区)
ゆうあいネットサポート隊 (西区)
狩留家地区社会福祉協議会 (安佐北区)
楽々園学区社会福祉協議会 (佐伯区)

／ 団体紹介冊子(令和4年度版)を発行しました ／

令和4年度の実施団体、36団体を紹介しています。
取組内容のほか、数字には表れにくい立ち上げの経緯や
助け合い活動への「想い」も伝わるように
掲載しています。

右のQRコードからアクセスできますので、
ぜひご覧ください。



広島市住民主体型 生活支援訪問サービス

実施団体紹介冊子 (令和4年度版)



～ 住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりに向けて ～



令和5年度 介護予防・日常生活支援総合事業市民啓発研修会

住み慣れた地域で誰もが自分らしく暮らしていけるため
～生涯スポーツから考える健康づくりと地域の支え合い～



日 時 令和5年9月19日(火)13:30～15:30

場 所 広島市総合福祉センター5階ホール ABC

(広島市南区松原町5番1号 BIG FRONT ひろしま)

講 師 広島文化学園大学人間健康学部スポーツ健康福祉学科

准教授 河野 喬 氏

A-pfeile 広島 BFC(ブラインドサッカーチーム) 後藤 将起 氏

※研修会の詳細・申込方法については、広島市社会福祉協議会

ホームページをご覧ください。下記お問い合わせ先にご連絡ください。



<各地で実践されている“ええところ”をお寄せください！>

地域活動に関する耳寄りな情報を教えていただき、定期的に発信していくことで、「ひろしまのええところ」をみんなで共有できる情報紙を目指します。耳寄り情報は、市・区社協にいる生活支援コーディネーターへご連絡ください！

発行：社会福祉法人広島市社会福祉協議会 地域福祉推進課 地域共生係

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号 広島市総合福祉センター内

TEL：082-236-6172 FAX：082-264-6413

Eメール：kyousei@shakyohiroshima-city.or.jp

